

製品名: ヒストン H3 (リン酸化 Ser10) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04777**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット、その他のキイロシヨウジョウバエ
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:500
分子量	15kDa

抗原情報

遺伝子名	HIST1H3A
別名	HIST1H3A; H3FA; HIST1H3B; H3FL; HIST1H3C; H3FC; HIST1H3D; H3FB; HIST1H3E; H3FD; HIST1H3F; H3FI; HIST1H3G; H3FH; HIST1H3H; H3FK; HIST1H3I; H3FF; HIST1H3J; H3FJ; Histone H3.1; Histone H3/a; Histone H3/b; Histone H3/c; Histone H3/d; Histone H3
遺伝子 ID	8350/8351/8352/8353/8354/8355/8356/8357/8358/8968
SwissProt ID	P68431/Q71DI3/P84243
免疫原	抗血清は、ヒトヒストン H3.1 の Ser10 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 1-50

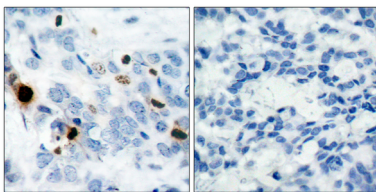
背景

H3ヌクレオソームの核となる構成要素。ヌクレオソームはDNAをクロマチンに包み込み、DNAを鋳型として利用する細胞機構へのDNAのアクセスを制限します。ヒストンは転写制御、DNA修復、DNA複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。

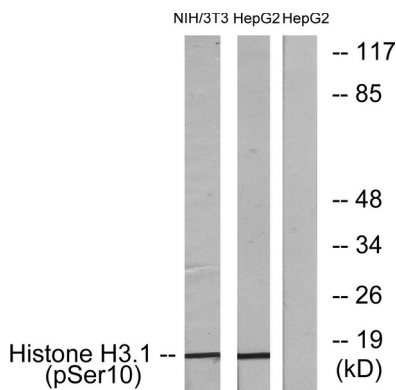
研究分野

タンパク質アセチル化

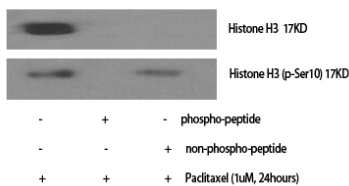
画像データ



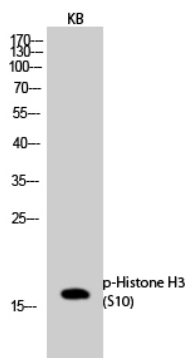
ヒストン H3.1 (リン酸化 Ser10) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



NIH/3T3細胞およびHepG2細胞のライセートをヒストン H3.1 (リン酸化 Ser10) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化ヒストン H3 (S10) ポリクローナル抗体を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析。



リン酸化ヒストン H3 (S10) ポリクローナル抗体を用いたKB細胞のウェスタンブロット解析。

